

地域固有を徹底的に磨き世界で輝く

豊岡は「小さな世界都市」を目指す

なぜ、豊岡は世界にこだわるのか。

本市では、日本人には「大都市が偉くて、小さなまちは偉くない」「大企業が偉くて、小さな企業は偉くない」という非常に強い価値の秩序があると考えています。豊岡が大都市（東京）を飛び超えて、いきなり世界で輝くことができれば、私たちはまちの誇りを取り戻し、元気が出てきます。その元気は、まちづくりのエネルギーにつながると信じているからです。

世界が注目

コウノトリの野生復帰

豊岡は日本の野外で一度絶滅したコウノトリを再び復活させ、野に放したまちです。野外で誕生したコウノトリが韓国に飛んで行くなど、コウノトリは世界と豊岡をつなぐ架け橋となっています。

私たちのまちは、人里の暮らしの中で大型鳥類の野生復帰に取り組み、世界でも類を見ない挑戦を続けています。放鳥から12年経過した今年、日本の野外のコウノトリは100羽を超え、全都道府県への飛来も確認されました。生息域は順調に拡大しています。

コウノトリも住めるような

豊かな環境をもう一度作り上げる。つまり、豊かな自然環境と文化環境をもう一度取り戻す。それがコウノトリ野生復帰の最大の狙いです。

この取組みは、世界中で高く評価されており、今年はいスラエルのシンポジウムやインドネシアのセミナーなどでPRした他、エルサルバドルからの視察や韓国記者の取材など、多くの人々が豊岡を訪れています。

多くの命が宿った米 コウノトリ育むお米

コウノトリの餌場となる田

んぼでは、たくさん生きものを増やす取組みが進められています。その一つが、平成15年にわずか0.7ヘクタールの面積で始まった「コウノトリ育む農法」です。作付面積は年々増え、平成29年には約407ヘクタールに拡大。農薬や化学肥料に頼らず、知恵を絞り、労力を掛けて米作りをしています。この取組みは、この米を食べる消費者をはじめ、販売店などの事業者によって支えられています。

ブランドイメージ向上と販路拡大のため、平成27年から海外進出を本格化しました。「農業と食料」がテーマのミラノ万博（イタリア）の日本館では、日本の農業の理想的な姿としてコウノトリ育む農法が紹介されました。また、昨年

からニューヨーク（米国）で大人気の日本食レストランで継続的に使用されている他、今年5月から香港の高級スー





パーに輸出を開始しました。

コウノトリ野生復帰を支えるラムサール条約登録湿地

さまざまな生きものの命を育む国際的に重要な湿地として「ラムサール条約」に登録された『円山川下流域・周辺水田』。世界中の湿地の中でも特筆すべきは「自然再生」です。生きものを育む米づくりに取り組む水田や円山川、「ハチゴロウの戸島湿地」などの湿地は、人間が努力を重ねて再生したものです。市では、平成30年度に開催されるラムサール条約第13回締約国会議で、加陽湿地などを含んだエリア拡張を目指します。

一度は絶滅したコウノトリを野生復帰させたまち豊岡。人々に関わる豊かな自然の中に、大小さまざまな生きものがいて、コウノトリもいる。この風景は、世界でここだけにしかないものです。

世界が認めた地球活動遺産 山陰海岸ジオパーク

世界遺産と同じユネスコの正式事業である世界ジオパークに認定されている『山陰海

岸ジオパーク』。豊岡は竹野

海岸、豊岡盆地、玄武洞、神鍋高原など市域全域が山陰海岸ジオパークです。「ジオパーク」は、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園です。地質や地形は、地球の歴史を物語っているだけでなく、人の暮らしや文化に直接結び付いています。この大地の営みを一つの遺産として学び、楽しむのがジオパークです。

外国人宿泊客数急増中 城崎温泉

城崎温泉は、木造3階建ての旅館街が特徴の日本の情緒あふれる温泉街です。昨年1年間で外国人宿泊客数が約4万人に達し、5年間で約40倍に急増しました。

世界各国から来訪客があり、欧米豪からの個人客も多いです。人気のガイドブックや海外メディアで紹介されたことが、多くの外国人観光客が訪れるきっかけとなりました。

また、昨年には、環境省と観光庁が後援する温泉総選挙の「インバウンド部門」で全国

1位に選ばれた他、本年度は、県が外国人観光客にPRするゴールデンルート（神戸―姫路―城崎）やJR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の県内唯一の立ち寄り観光地にも選ばれています。

世界の舞台芸術家の憧れの地 城崎国際アートセンター

城崎国際アートセンターはパフォーミングアーツに特化したアーティスト・イン・レジデンス（注2）の拠点です。

世界中から一流のアーティストが続々と訪れるようになりました。平成30年度の公募には、23カ国94の団体が応募。世界中の舞台芸術のアーティストにとって「KINOSAKI」は憧れの地となりつつあり、この分野で豊岡は東京を介さずにダイレクトに世界と結ばれ始めています。

市民は、ワークショップや試演会、茶話会など、滞在アーティストと世界最先端の芸術体験を共有できます。

（注2）アーティストを一定期間地域に招き、芸術創造活動の環境を提供する事業